

東京湾海況情報 24-4

東京湾水質調査結果（平成24年7月）

（平成24年7月13日発行）

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
〒293-0042 富津市小久保3091
TEL 0439-65-3071
E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp
千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 7/2：内湾(わかふさ)、内房海域(ふさみ丸)
関東・東海海況速報(7/2)、東京湾口海況図(7/2)、神奈川県水産技術センター(7/2)
モニタリングポスト(7/2：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁)
東京都環境局(7/3-5)

【 水温・塩分の状況 】

湾内の表層水温は(図1)はほぼ20~21℃台で、平年より約2~4℃とかなり低くなっています。塩分は25~32PSU台前半で、内湾の東側は平年より高め、内房海域では低めになっています。縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図3)をみると、低温(17℃台)・高塩分(33.5PSU以上)の水塊が内湾北部海域まで達しています。

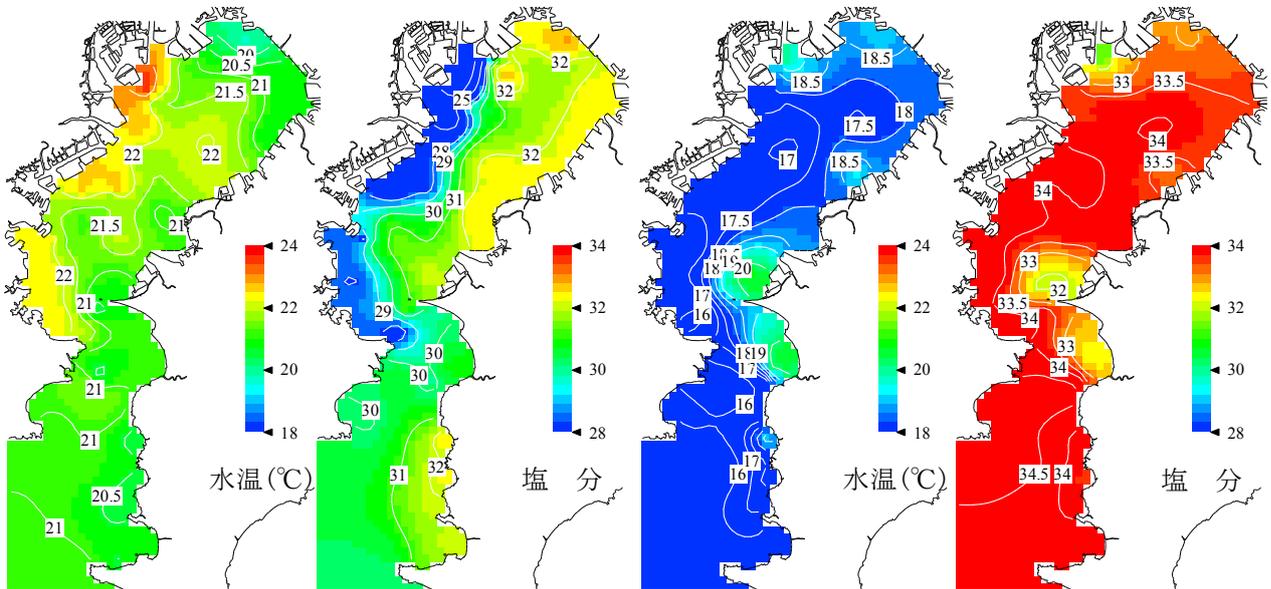


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

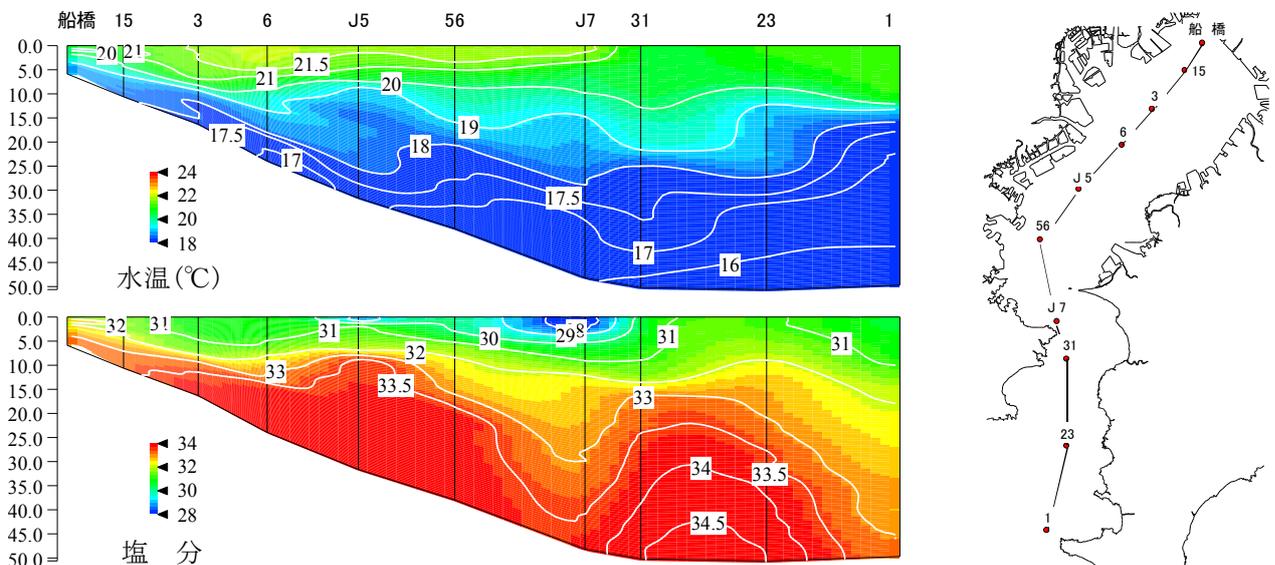


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布(上：内湾、下：内房海域、右：調査ライン)

なお、6月28日に、コスモ石油(株)千葉製油所のタンクからアスファルトが海上に一部流出する事故が発生。7月10日現在、護岸ほかの洗浄作業及び浮流油調査を実施中。

【 赤潮の状況 】

千葉灯標付近で赤潮気味であるものの、赤潮はほぼ全域で発生していませんでした。

プランクトンはケイ藻のスケルトネマ (*Skeletonema* sp.)、タラシオシラ (*Thalassiosira* sp.) 及び渦鞭毛藻のケラチウム (*Ceratium furca*.) がやや多くみられる程度でした。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。

色	: オリーブ～褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 μ g/L以上

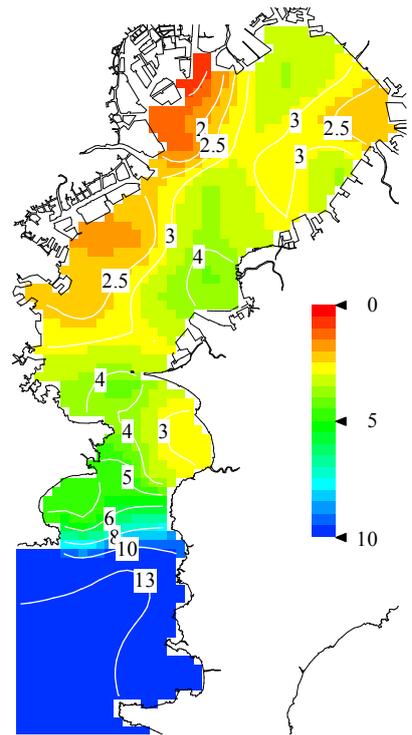


図4 透明度の分布 (m)

【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)は中央～北部海域で低下し、湾奥では 1ml/L 以下の強い貧酸素水塊が広く分布しています。

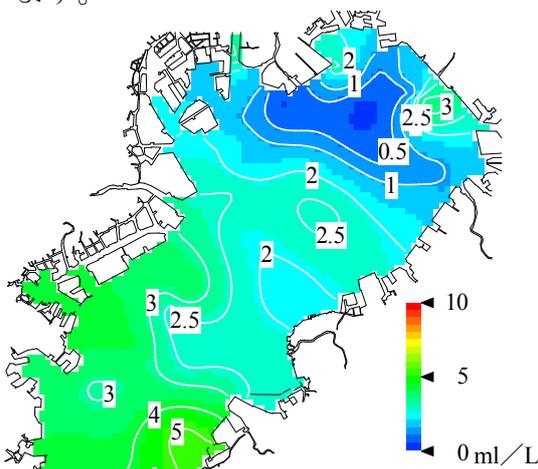


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

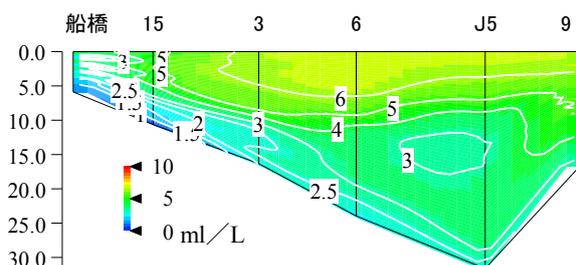


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L

【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩濃度(図7)は内湾北部海域で溶存無機態窒素(DIN)、リン酸態リン($\text{PO}_4\text{-P}$)とも平年よりかなり少なくなっています。

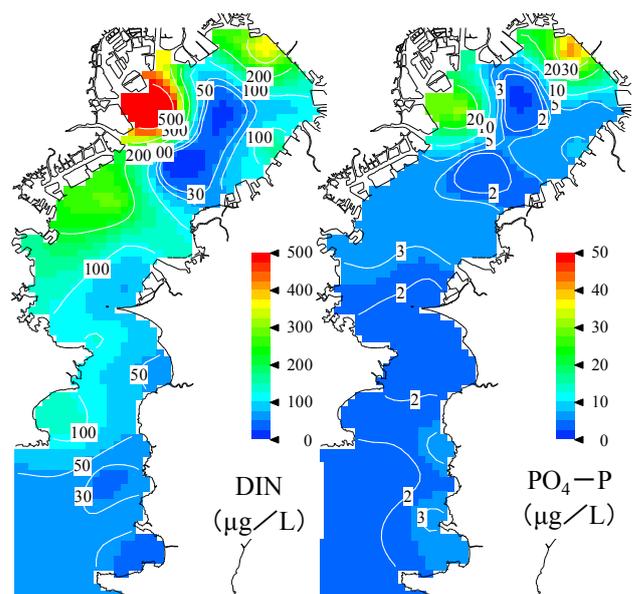


図7 栄養塩濃度の分布 (表層)

【黒潮の状況】

黒潮はほぼ N型基調で推移し、その流軸は2日現在御蔵島付近を通過した後、房総半島南東岸をやや迂回しながら、犬吠埼沖から北東方向に流れています(図8)。

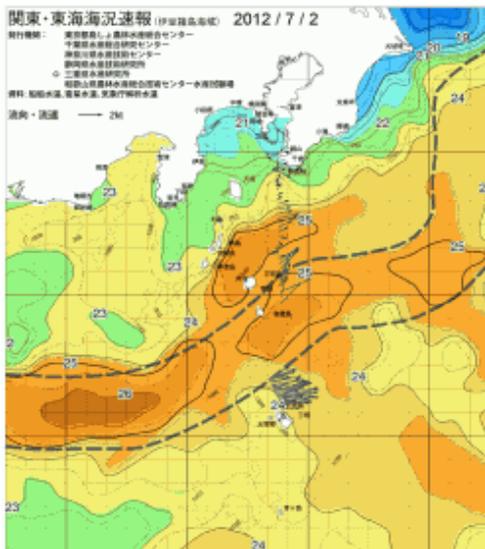
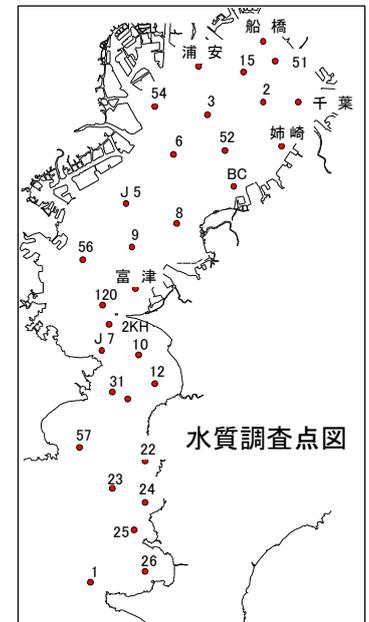


図8 黒潮の動き (平成24年 7月 2日)



水質調査点図

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
(): 最近10年間の平均値 (2002~2011年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存 酸素量 (ml/L)	アンモニ ア態窒素 (µg/L)	溶存無機 態窒素 (µg/L)	リン酸態 リン (µg/L)	クロロ フィルa (µg/L)
船橋	19.6 (25.8)	32.64 (26.69)	3.5 (1.2)	7.8 (8.7)	0.6 (3.1)	112 (59)	325 (134)	31 (19)	10.8
st.15	20.8 (25.7)	31.52 (26.61)	3.7 (1.3)	8.2 (8.8)	0.0 (1.3)	9 (37)	85 (133)	4 (14)	7.7
st.3	21.6 (24.9)	30.65 (27.17)	3.1 (1.5)	8.4 (8.7)	2.1 (0.4)	15 (31)	87 (259)	3 (18)	17.0
st.6	21.9 (24.7)	30.72 (26.69)	3.6 (1.6)	8.4 (8.7)	2.1 (1.1)	16 (70)	25 (314)	2 (20)	12.0
st.9	21.9 (23.6)	30.92 (29.84)	3.6 (2.2)	8.4 (8.5)	2.7 (2.7)	23 (23)	100 (67)	3 (6)	11.1
st.BC (盤洲Cブイ)	21.9 (24.4)	32.28 (29.54)	3.0 (1.8)	8.1 (8.6)	2.2 (2.8)	11 (30)	70 (46)	3 (8)	8.1
st.8 (盤洲A南)	20.9 (23.9)	32.33 (30.35)	4.2 (2.0)	8.1 (8.5)	2.3 (2.3)	17 (21)	113 (48)	5 (7)	5.6
富津	20.9 (23.3)	31.92 (30.43)	3.0 (2.4)	8.3 (8.5)	5.2 (3.1)	27 (28)	53 (64)	2 (9)	16.4
st.2KH (第2海ほ下)	20.3 (22.8)	30.85 (31.09)	4.5 (3.3)	8.3 (8.4)		14 (21)	70 (54)	1 (5)	8.3
st.31	20.5 (22.4)	30.48 (31.75)	5.0 (3.9)	8.3 (8.4)		16 (18)	77 (40)	2 (4)	4.0
st.23	20.9 (22.3)	31.11 (33.19)	14.0 (7.8)	8.3 (8.2)		7 (14)	23 (29)	2 (2)	1.0
st.1	21.0 (22.7)	30.45 (33.90)	13.0 (13.2)	8.3 (8.2)		16 (16)	30 (21)	2 (3)	1.2
st.10 (下洲沖)	20.9 (22.6)	29.83 (31.45)	3.0 (3.5)	8.4 (8.3)		15 (20)	72 (53)	1 (4)	11.7
st.12 (湊沖)	20.9 (22.7)	30.58 (31.50)	3.0 (3.4)	8.4 (8.4)		10 (18)	43 (38)	2 (4)	
st.22 (保田沖)	20.3 (22.4)	32.26 (33.18)	9.5 (5.7)	8.3 (8.3)		14 (14)	38 (20)	4 (2)	1.3
st.24 (富山沖)	20.5 (22.6)	32.23 (33.72)	12.0 (9.0)	8.3 (8.2)		10 (13)	29 (16)	3 (1)	1.0
st.26 (館山湾内)	20.8 (22.3)	31.83 (33.90)	11.0 (10.4)	8.3 (8.2)		8 (14)	20 (19)	3 (1)	

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。